

経産省「意見箱」に原発 NO の意見を出そう

2021年7月28日 木村雅英

第六次エネルギー基本計画でも原発を残そうと画策している経産省が1月27日から「国民」からの意見募集しています。エネルギー政策に関する「意見箱」です。

皆さんも一言でも「脱原発」を訴える意見を書いて出してください。

特に7月21日の基本政策分科会（第46回）で「エネルギー基本計画（素案）」が示されました。

https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/2021/046/

このまま第6次「エネルギー基本計画」を決定させてはなりません。

例えば「2030年ミックス（原子力20～22%）は撤回するべき」とか、

「2030年に向けた政策対応のポイント 【原子力】は間違いだらけだ」とか、

原発反対の意見を書いて出しましょう。

以下は経産省（資源エネルギー庁）の案内です。

エネルギー政策に関する「意見箱」

https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/opinion/index.html

1. 趣旨

令和2年10月より、総合資源エネルギー調査会基本政策分科会において、エネルギー基本計画の見直しを検討すべく、議論を開始しております。

今後のエネルギー政策の検討に当たっては、できる限り幅広い国民からの意見を募集すべく、「意見箱」を設置することといたしました。なお、いただいた意見は、基本政策分科会において、随時資料として配布し、議論の参考とさせていただきます。

==>総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会

https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/

2. 意見募集期間

令和3年1月27日～

3. 意見提出方法

以下の送信フォームより、日本語で御意見を御提出ください。

なお、電話での御意見の提出には対応いたしかねますので、あらかじめ御了承ください。

==>エネルギー政策に関する意見箱 送信フォーム

<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/enecho-jyukyuseisaku/opinion>

4. 注意事項

御意見に附記された氏名等の個人情報については、適正に管理し、エネルギー基本計画の見直しの検討に関する業務のみに利用させていただきます。

御提出いただきました御意見については、氏名等個人情報に関する事項を除き、すべて公開される可能性があることを予めご了承ください。ただし、御意見中に個人に関する情報であって特定の個人が識別しうる記述がある場合及び個人・法人等の財産権等を害するおそれがあると判断される場合には、公表の際に当該箇所を伏せさせていただきます。

皆様から頂いた御意見に対し、個別にお答えすることはできませんので、その旨御了承ください。

==>総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会

https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/

参考に、東京新聞記事（本年2月25日朝刊）を添えます。

エネ政策見直し 「原発否定的」 国民意見6割

経済産業省資源エネルギー庁は二十四日、エネルギー基本計画の見直し議論を巡り、一月下旬からこれまで国民から寄せられた百六件の意見を公表した。このうち原発の再稼働や建て替えを求める声は一割ほどにとどまる一方、六割以上は原発を利用し続ける政策に否定的な考えを示し、その多くが原発廃止を求める意見だった。

意見は同庁ホームページで現在も募集しており、別の意見公募が始まるころまで続ける予定。有識者会議「総合資源エネルギー調査会基本政策分科会」のページにある「エネルギー政策

に関する「意見箱」で受け付けている。意見は自由に記述でき、同分科会の参考資料になる。

原発廃止を求める意見の多くは、地震による深刻な事故の危険性が否定できず、使用済み核燃料の処分も決まっていないことなどを指摘。主な世論調査でも反対意見が多い一方、分科会内には明確に原発廃止を唱える委員がいないことへの批判もあった。

原発に賛成する意見は、エネルギーの安定供給や温室効果ガス削減に効果があることを理由とした。既存の原発を否定しつつ新型炉を肯定する声もあった。再生可能エネルギー拡大の賛否や新技術に頼り過ぎることへの懸念も寄せられた。

この日は分科会の会合があり、経済界、労働者、消費者の各団体から意見を聞いた。分科会は三月以降、二〇三〇年のエネルギー政策についての議論を始める。
(妹尾聡太)

以上